

平成24年度学力向上に向けた取組

函館市立 亀尾 中 学校 学級数 3

視点1：アプローチの視点に基づいた、「組織的」で「つながり」（学びの連続性・学校内外の連携）をもった取組

重点教育目標 心もからだもたくましく すすんで実践する子どもの育成

A 各教科・領域等における系統性や、他の教科・領域等との関連に配慮する

B 長期的な見通しをもって、学習内容を確実に定着させる

C 校内研究の進め方を見直す

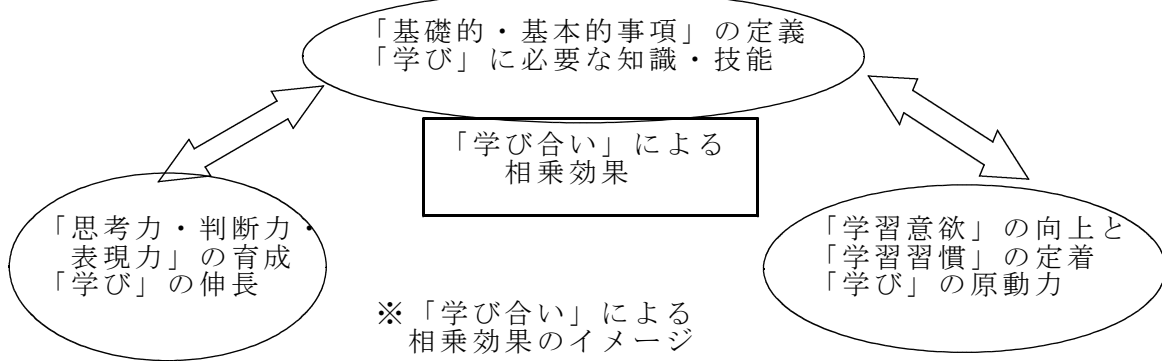
D 授業公開や外部への公開・発信を生かす

取組の概要

- 取組のきっかけ
平成21～23年度の3年間で実施してきた研究主題への取り組みが終わり、平成24年度から新しい研究主題が設定されたため。
- 取組の位置付け
研究担当が中心に進め、必要に応じて教務がサポートする。
- 取組の方法
今年度の研究主題「学び合い活動を活かし、意欲的に取り組む児童生徒の育成を目指して」に基づいて、児童生徒の学力向上を図るために次のことを実践していく。

- ・課題の工夫
- ・発達段階に応じた一人で考える時間の工夫
- ・ペアやグループの活用
- ・全体で交流する場の工夫
- ・自己評価、相互評価の工夫

これらの取り組みから、図のような効果を期待している。



取組の成果と課題等

- 取組の成果
 - ・教師自身が「学び合い活動」を意識した授業を展開することで、児童生徒に徐々に浸透してきている。
 - ・ペア、グループを積極的に活用する場面が増えた。→→個人へ戻したときの定着度について注意が必要である
 - ・継続した家庭学習を喚起する働きかけを、なお一層行う。（学習習慣、学習意欲）
- 教育課程検証の方法
 - ・評価委員会より各学期に「学校評価に関するアンケート」を実施。児童生徒、職員、保護者、地域から意見を求め、各項目についてまとめる。集計結果および提出された意見をまとめ、評価・準備委員会で検討するとともに保護者へも知らせる予定。

